



令和7年度地域学校協働本部事業 地域学校協働研修会（会津地区）



福島県教育委員会（会津教育事務所）

〈日 時〉令和7年9月3日（水） 13:20～16:20

〈会 場〉会津若松市文化センター 展示室兼会議室

〈参加者〉26名（地域学校協働本部関係者・児童クラブ関係者・学校支援関係者・行政関係等・事務局）

講義

「多様性を支援する～安心して過ごせる居場所づくり～」

福島県教育庁会津教育事務所 指導主事 土田 加奈子

- 多様化する子どもたちに対する接し方
 - 一人ひとりの「違い」を理解し、受け入れていくこと
 - 子どもがもつ発達の特徴を、問題行動として捉えるのではなく、「その子の個性」として理解することが大切。
 - 安心できる「心の居場所」を提供すること
 - 「大切な存在だよ」というメッセージを伝え続けることで、自己肯定感を育み、子どもの心理的安全が保たれる。
- 子供たちが安心して活動できる環境を作るために大切なこと
「物理的な環境づくり」、「心理的な環境づくり」、「ルールと仕組みづくり」
- 事前質問で出された日頃の活動の中での疑問についての助言



【受講者の声】

- 子どもたちへの接し方のポイントについていろいろな観点から説明していただき、とても参考になりました。実践に生かしていきたいです。
- できない子とできる子の差が大きく、戸惑うことが多々ありますが、「できない子と一緒にやってみる」ことに目を向けて、会話していこうと思いました。

講義・演習

「ひとりひとりがわくわく、みんなでわくわく

良好な関係づくりのレクリエーションの実際とコツ」

CoCoLa(カンファタブルコミュニケーション研究所)代表 小久保 信幸 氏

- レクリエーションは良好な関係づくりのよい道具
 - 心の仕組みの働き
 - 良好な関係づくりは、安心して過ごせる雰囲気づくりから→経験する、心が動く、行動が変わる。
 - 初めましてや改めましてのレク（実際のコツ）
 - ミラーリング効果で「一緒、安心、楽しい」気分が一つになる。
 - 同時発声、同時動作がしやすいように配慮する。（声掛け・間）→ルールを足して楽しんで繰り返す。（説明の遊び化、一致の快さ、仲間との共有）
- よい関係を深めるレク
 - よい関係づくりは、仲間と一緒にチャレンジする中で行う。【だんだん体験】→階段をおって（だんだんと）喜びや楽しさが強くなるような体験。成功体験の積み重ね。
- 土台のコミュニケーションの原則「受容的応答的支持的コミュニケーション」とレクへの応用



【受講者の声】

- 心の成長に目を向けたレクリエーションの手法とその理論について学ぶことができました。また、先生自身の姿や語りがレクリエーションをする人の手本のようにもなりました。
- リズムを伴った全身あっち向いてホイのレクがとても良かったです。身体活動での仲間づくりが、わくわく夢中になれる体験として、とても有意義でした。
- レクリエーションのもつ力を実感しました。受容し共感しながら子どもの目線で支援していきたいです。